

もりかわ内科クリニック

胃腸・消化器・内視鏡内科

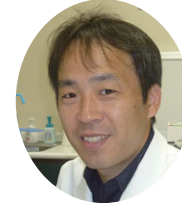
健康



こんにちは
内視鏡内科です

Q&A
第4回

「最近の大腸検査について教えてください」



もりかわ内科クリニック
森川 民也 先生
福山市東手城町1-3-11
東手城ヘルスケアモール内
☎(084)983-0088

Q 以前、大腸内視鏡検査を受けたとき大変苦しかったのですが、最近の大腸検査について教えてください。

A 最近の大腸内視鏡検査は、技術や検査機器の進歩により、昔に比べて楽に受けていただけるところになってきています。私自身何度も大腸内視鏡検査を受けており、自分の体験から考えると、検査に伴う苦痛はこう挙げられると思います。一つ目は、検査前に大腸内を洗浄するポリトルの下剤です。下剤は飲みにくい味付けになっていて、なおかつたくさん量を飲むことになりま。ポリトル飲む理由は、これだけ飲むばほとんどの方は大腸内がきれいになる、というので飲んで頂いている訳なので、もちろん全部飲まなくても大腸がきれいになる方もいらっしゃいます。そういう方は排便状況に応じて下剤の量を調節するようにしています。また、錠剤と水(またはお茶)で腸を洗浄するタイプのものもあるので、従来の下剤が飲みにくいと言われる方にはそちらを選んで頂くことも可能です(ただし年齢や持病での制限が

あります)。

2つ目は検査時の痛みです。以前は径15mm程の太い内視鏡を用いていましたが、最近では細いタイプのもものが主流となっており、細い内視鏡の方が検査の苦痛は少なくなります。当院では、私が修行した内視鏡検査施設での経験を基に径11mmの細く、軟らかい内視鏡を採用しております(勤務医時代はこの細い内視鏡で2歳のお子さんの検査治療も行いました)。お腹の手術を受けたところのある方は癒着のため検査が難しいことがあります。その場合でも細く軟らかい内視鏡であれば、比較的苦痛が少なく検査を受けて頂けます。また内視鏡を力任せに押しこめば、腸が伸ばされるため苦痛を伴うので、最近ではできるだけ腸を伸ばさないように内視鏡と腸をコントロールしながら奥へ進めていくことで、苦痛の少ない検査を行うようにしています。気になる事がありましたら、お気軽に内視鏡専門医にご相談ください。

皆様からの質問に、先生が解答します

質問を明記して、「プレスシート」内視鏡内科Q&A係まで、氏名・住所・年齢をお書き添えの上、ハガキ、ファックス、Eメールにてご質問下さい。〒七二〇一〇〇四 福山市御幸町中津原一七七二一、☎九五五一八二六、Eメール:hiensyuuu-bu@press-seed.net.jp。